

憲法しんぶん速報版

第 76 号

2004 年 3 月 8 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

改憲阻止へ憲法会議第 39 全国総会開く 学習広げ圧倒的世論広げる運動へ

憲法会議は 3 月 7 日、東京・文京区の全労連会館で、第 39 回全国総会を開きました。59 人が参加したこの総会では、かつてなく緊迫した情勢を反映して、すでに取り組みされている署名運動や学習会の経験が交流され、国民の圧倒的多数の反対世論を獲得することをめざした多面的で熱気ある討論が展開されました。

「組織の存在意義」かけて

全国総会は午前 11 時に開会。吉田健一・代表幹事のあいさつの後、伊藤和子(自由法曹団)、鈴木猛(国民救援会)の両氏を議長に議事に入りました。

方針案の説明をおこなった川村俊夫・事務局長は、憲法会議結成の原点を示してその任務を明らかにするとともに、こんにちの情勢の重大性質を指摘し、憲法会議の存在意義をかけたたたかいをよびかけました。

簡単な質疑の後、午後から討論に入り、28 人が発言。担当常任幹事会を代表して川村事務局長が討論のまとめをおこない、総会はこれを含めて全員の拍手で新方針を確認しました。つづいて新役員を選出おこない、新たに代表委員になった高田公子・新婦人会長が

「5・3集会」第3回実行委員会のお知らせ

- ◇日時 3 月 23 日 (火) 18 時 30 分
 - ◇会場 文京区・シビックセンターホール 4F
 - ◇議題
 - ①集会の運営・分担
 - ②参加者の確保について
 - ③その他
- *当日までにチラシができます。必要枚数をお知らせください。

新役員を代表してあいさつ。最後に石山久男・代表幹事が、新方針にもとづく全国での奮闘を訴える閉会のあいさつをおこない、総会は午後 4 時 30 分、すべての日程を終了しました。

【選出された新役員】(○印は新)
<代表委員>市川喜一(全商連会長)、市田忠義(共産党書記局長)、熊谷金道(全労

連議長)、○坂本修(自由法曹団団長)、○高田公子(新婦人会長)、長谷川正安(名古屋大名譽教授)、浜林正夫(一橋大名譽教授)、渡辺洋三(東大名譽教授)<代表幹事>石山久男(歴教協副委員長)、隅野隆徳(専修大教授)、吉田健一(自由法曹団) <事務局長>川村俊夫

総会の発言者とテーマ

【国公労連・空直樹】公務員のビラまきへの弾圧について。

【専修大学・隅野隆徳】「憲法改正国民投票法案」の問題点について。

【立正大学・金子勝】9条改悪にこめた日本支配層のねらい、その他。

【自由法曹団・松本善明】憲法改悪阻止のために何が必要か。

【全商連・早坂義郎】消費税増税反対など生活と権利を守るたたかい。

【日本共産党・川田忠明】憲法9条を守る国際的意義について。

【新婦人・尾田一美】班を基礎とした新婦人の活動と女性の共同。

【自由法曹団・島田修一】国民投票法案などに反対するたたかいについて。

【治維法国陪同盟・近藤一雄】戦前からの伝統を引き継いだたたかいを。

【歴教協・石山久男】「つくる会」教科書問題とセンター入試介入問題。

【京都・岩佐英夫】京都における共同の取り組みと憲法会議の独自活動。

【福島・山口文彦】有事法制反対闘争の経験、共闘組織のあり方について。

【愛知・本秀紀】講師活動の経験と愛知での共同の運動について。

【和歌山・坂本文博】個人会員拡大の取り組みと学習活動について。

【岩手・沼田稔】県レベルの共同。全地域での学習会めざす取り組み。

【石川・板坂洋介】地方公聴会の取り組みと5・3集会の共同に向けて。

【宮城・斉藤信一】無料出前学習会と5・3集会の共同に向けて。

【香川・山下性太郎】憲法学習で9条と生活要求の結合を。

【山梨・加藤啓二】学習活動の経験と講師の養成について。

【神奈川・森卓爾】県内の共同をめざす努力。『憲法運動』普及について。

【千葉・高橋勲】ねばり強い地域の学習会の経験。地域組織の結集。

【東京・山本真一】個人会員の拡大と末広がりの署名運動について。

【静岡・小沢隆一】地域のネットワークづくり。9条擁護の国際的意義。

【民青・香西克介】高校生の戦争協力拒否宣言運動。青年の未来と憲法。

【自由法曹団・伊藤和子】現地の実情とイラク派兵反対の運動について。

【全教・長谷川英俊】教育基本法・憲法改悪反対を一体としてたたかい。

【建交労・大友孝平】労働組合の憲法を守る運動をどうすすめるか。

【自由法曹団・坂本修】学習会での要望事項。まず一步を踏み出そう。

第一次署名提出行動を実施

「5・3憲法集会実行委員会」は3月3日、第一回目の署名提出行動をおこない、これまで各団体によせられている**42,318**名の署名を提出しました。集会では共産党・山口富男、社民党・山本きよひろの両衆院議員が署名をうけとり、連帯のあいさつをしました。